



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

※プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。
なお、当文書は英語版プレスリリースの本体部分のみの抄訳です。

重要事項

本プレスリリースは情報提供のみを目的としており、いかなる有価証券、本書に記載されているいかなる事業もしくは資産の一部、またはその他持分の、取引もしくは売却の提案もしくは案内、購入もしくは取得の申込みの勧誘、または取引、購入もしくは取得の案内、または本取引もしくはそれ以外に関するいかなる法域におけるいかなる議決権の行使もしくは承認の勧誘を、意図または構成するものでもなく、また、いかなる法域の適用法に違反するような有価証券の売却、発行または譲渡も行われないものとします。本プレスリリースは、本プレスリリースのいかなる読み手にとって、いかなる方法においても推奨として解釈されないものとします。

本プレスリリースは目論見書、金融商品開示書類、または欧州経済地域の各加盟国ならびにフランス法およびオランダ法により修正および実施された、特に2017年6月14日付欧州評議会および理事会の指令2017/1129/EUにより修正されたものに基づきその他の募集書類ではありません。

事業統合取引に伴い米国での有価証券の募集が必要に応じ実施される場合、米国証券取引委員会に提出される有効な有価証券届出書の一部を構成する目論見書を通してのみ行うことができます。本取引に関して米国証券取引委員会に提出された全ての書類およびそれらの参照書類ならびにFCAが米国証券取引委員会へ提出した書類の全ての写しは、米国証券取引委員会のウェブサイトにて入手することができます：<http://www.sec.gov>

Reuil-Malmaison 並びに London 発、2019年10月31日

グループ PSA および FCA、持続可能なモビリティ新時代に向かう 世界的リーダーとなるべく、協業を計画

討議の結果、株式割合としてグループ PSA50%、FCA50%の世界的規模の新たなグループの創設に向けて道が開けました。急速に変化する環境の下、モビリティにおいてはコネクテッド、電動化、シェアード、自律モビリティなど新たな挑戦が山積しており、2社が統合されれば、革新技术の揺籃と挑戦に対し速やかに資本効率高く対応すべく、両社は強みを生かしつつ世界中に有する研究開発体制やエコシステムを活用していくこととなります。

- 両社が組むことになれば、年間販売台数において世界第4位の世界的自動車 OEM が誕生します (870万台)
- 新会社発足により、FCA が強い北米及びラテンアメリカ市場並びにグループ PSA が強い欧州市場において、最も高い利潤幅の獲得が見込まれます
- 両社の組み合わせにより、ラグジュアリー、プレミアム、メインストリームの乗用車、SUV、トラック及び軽商用車市場にそれぞれ強いブランドがグループとして結集され、その相乗効果でブランド力が強化さ



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

れます

- 両社の統合により、持続可能なモビリティ新時代をかたち作る技術、すなわちパワートレインの電動化や自律運転、デジタルなコネクティビティに関して、両社の持つ幅広く、かつ最先端の能力が集結されます
- 年間約 37 億ユーロに上る運営における相乗効果が見込まれ、工場の閉鎖は一切ありません
- 高い尊敬を集めるマネジメントチームは、非常に優れた価値創造で知られ、過去に OEM を成功させた経験があります
- オランダに創設される親会社の取締役会は、バランスの取れた構成となり、独立した取締役が過半数をしめます。予定される会長はジョン・エルカン、カルロス・タバレスが取締役として CEO を務めます

2019 年 10 月 31 日、Reuil-Malmaison 並びに London 発

Peugeot S.A. の監査役会並びに Fiat Chrysler Automobiles N.V. (以下 FCA, NY 証券取引所: FCAU、ミラノ証券取引所: FCA) の取締役会は、各々全会一致で、各々の全事業体を対象として、50:50 の対等合併で完全な統合を目指す方向で検討に入ることに合意しました。同監査役会及び取締役会は、各々の経営陣に対して、今後数週間で覚書を取り交わすべく討議を詰めていくことを一任しました。

グループ PSA および FCA の事業を統合する計画は、両社のシニアマネジメントによる集中討議に引き継がれます。両社のシニアマネジメントは、新時代のモビリティへの挑戦に際し、うまく機会を捉えつつ効率的に経営するにあたり、規模、能力、リソースの点において自動車業界をリードする存在を創る今回の大胆な決断は説得力がある、という確信を共有しています。

現在の統合案は、年間販売台数において世界第 4 位の世界的自動車 OEM を誕生させ、マニエッティ・マレリ及びフォルシアを除く 2018 年実績を単純に合計する試算ベースで、1700 億ユーロ近くの連結売上高（注：マニエッティ・マレリを除く FCA の純売上高と、フォルシアの第三者に対する売上高を除くグループ PSA の売上高の合計）、110 億ユーロを超える通常営業利益（注：マニエッティ・マレリを除く FCA の支払金利前税引前利益と、フォルシアを除くグループ PSA の通常営業利益の合計）となる見込みです。さらに、統合により見込まれる顕著な相乗効果は年間約 37 億ユーロに上ると見込まれ、それらは車両のプラットフォームやパワートレイン及び技術開発などの大規模投資に際しての資源のより効率的な配分と、統合により拡大する購買力の向上からもたらされます。これらの相乗効果試算は、工場閉鎖は前提とされていません。



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

上述の相乗効果の **80%**は統合後 **4**年間に見込まれています。他方、相乗効果を得るための一時的コストは **28**億ユーロと予想されています。

各々の会社の株主は統合後の新事業体の **50%**の株式を所有することになり、したがって、統合後の利益も等分に享受する見込みです。統合は、オランダに作られる親会社のもとで行われ、新会社のガバナンス構造では、各々の資本金出資株主のバランスをとる一方、取締役の大多数は独立した存在となります。取締役会は **11**名の取締役で構成されます。そのうち **5**名（含むジョン・エルカン会長）は **FCA** 側が推薦し、**5**名（含む専務取締役、副会長）はグループ **PSA** 側が推薦します。最高経営責任者は、当面の **5**年間はカルロス・タバレスが務め、取締役となります。なお、取締役会メンバーは、従業員の代表者であり、あらゆるレベルの法的要件に基づいて決定されます。

カルロス・タバレスは次のように述べています：「この統合は、全てのステークホルダーに明らかな価値をもたらすものであり、統合後の事業体には明るい未来が開けています。私は過去にマイクと一緒にした仕事に満足しており、これからグレイト・カンパニーを作るべく共に働けることを幸せに思います。」

マイク・マンリーは次のように述べています：「カルロスと共に、この業界に変化をもたらす可能性のある統合に携わることを嬉しく思います。我々はグループ **PSA** と長年に亘り良い協力関係にありますし、素晴らしい従業員と共に、世界的に一流のグローバル・モビリティ・カンパニーを創り上げることができると確信しています。」

新グループのオランダ国籍の親会社は、**Euronext** 証券取引所（パリ）、イタリア証券取引所（ミラノ）、ニューヨーク証券取引所に上場する予定であり、現在、各社の本社があるフランス、イタリア、米国で存在感は維持されます。

新事業会社では、定款により、**loyalty voting program** として、株主総会においては、いかなる株主も投票総数の **30%**以上を超える投票はできないとする条項（注：オランダ国籍企業における **No blocking minority** 条項；定足数の **50%**を上回る投票において、全ての議決は単純多数決とする）を設ける予定です。さらに、現行の **double voting rights** の持ち越しをなくすことも予定されています。新たな **double voting rights** は統合の終了後、**3**年間の保有期間を経て成立することとする見込みです。

EXOR N.V.、フランス公的投資銀行（**Bpifrance**）**Participations SA**、東風汽車（**Dongfeng Motor Group**）、プジョー家所有の株式については、統合後 **7**年間



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

は据え置きとされる予定です。そのうち EXOR N.V., フランス公的投資銀行 (Bpifrance) Participations SA, プジョー家に関しては、基本的に 3 年間は所有株式は凍結されますが、プジョー家は例外的に、統合終了後 3 年間に限り、フランス公的投資銀行 (Bpifrance) Participations SA, 東風汽車 (Dongfeng Motor Group) から取得する場合に限って所有株式を 2.5% まで買い増すことが許されます。

統合手続きの完了に先立ち、FCA は株主に対して 55 億ユーロ相当の特別配当及び Comau 社の株式を配当する予定です。加えて、同じく完了に先立ち、Peugeot 社は株主に対して、フォルシア社に所有している 46% の株式を配当する予定です。これらの措置により、統合後の各々のグループの株主は、同等に統合後の相乗効果と利潤を享受できる一方、FCA が北米で有する差別化された地盤とラテンアメリカで有する強い立場、そしてそれらの地域で市場リーダーであることによる利益の価値を享受できます。またこれにより、FCA のハイエンドの世界的ブランドであるアルファ ロメオとマセラティの潜在的発展性を勘案した付加価値も反映されます。

合理的なプラットフォーム選択と投資の最適化をベースとして製品ポートフォリオが拡大されることにより、市場の全セグメントが、アイコン的なブランドと強い訴求力を持つ製品群でカバーされます。

統合案は今後、各々に関係する従業員を代表する団体に情報提供され協議されるプロセスを経て、覚書と最終文書に関する最終的な取締役会承認などの慣例的完了条件の確認に供されます。

以上

IR 関係及び報道関係者の問い合わせ先に関しては、英語版プレスリリースをご参照ください。

将来の見通しに関する記述

本プレスリリースには将来の見通しに関する記述が記載されています。これらの記述は、FCA グループの現時点での将来的な出来事に対する予想および見通しに基づくもので、その性質上、内在するリスクや不透明要因による影響を受ける可能性があります。これらは出来事と関連しており、将来的に発生または存在するかどうか分からない状況に左右されることから、これらに過度に依存すべきではありません。資本市場や金融市場の変動および悪化、コモディティ価格の変動、一般的な経済状況の変動、経済成長および業況におけるその他の変動、天候、洪水、地震またはその他自然災害、政府規制の改定、生産および供給上の制約を含む生産上の問題、提案されている事業統合が合意もしくは完了されるか、または事業統合の時期に加えて、それに伴い期待されるシナジーの実現等の不透明要因、およびその大半が FCA グループの範疇を超えるその他多くのリスクや不透明要因を含む様々な要因を受け、実際の結果は、これらの文書に記載されている事柄とは大幅に異なる場合があります。

FCA およびその関連会社、取締役、アドバイザー、従業員ならびに代表者は、これらの将来の見通しに関する記述により生じる、いかなる負債に対して、一切の責任を明示的に免除されています。



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

PRESS RELEASE

将来の見通しに関する記述は、本書の作成日時点のものです。適用法により義務付けられている場合を除き、FCA は、本書の日付以降、本書に記載されているいかなる公開情報または将来の見通しに関する記述を、新規情報、将来的な出来事もしくは状況、またはそれ以外の理由を反映するために、改定する一切の義務を負いません。また、本プレスリリースに記載されているいかなる見解も、通知を行うことなく変更される場合があります。FCA は今後明らかになる可能性のある、本書に記載されているいかなる誤り、または本書が見落としていた事柄を訂正する一切の義務を負いません。